

当科で骨軟部腫瘍に対する診断、治療を受けられた患者さん、ご家族の皆さまへ

当科において骨軟部腫瘍に対する診断、治療を受けられた患者さんの既存試料の医学研究への使用のお願い

**【研究の目的について】**

骨軟部腫瘍はまれな疾患であり、肺がんや胃がん为代表される「5大がん」に比べ発生頻度が非常に低いため、新しい診断技術や治療法の開発が極めて困難です。当科では、骨軟部腫瘍の新しい診断や治療に役立つ因子を同定するために、実験室で培養可能な細胞株を用いた研究を行っています。しかし、細胞株で得られた結果が臨床の場で役立つか否かを判断するには、実際の腫瘍組織で検証する必要があります。そこで、当科において診断、治療を受けられた骨軟部腫瘍の患者さんの、生検や切除の際に得られた腫瘍組織の病理診断提出後の余剰検体を用い、新たな診断技術や治療法の開発に役立つ可能性がある因子の発現状態や遺伝子異常などについて種々の視点から詳しく検討したいと考えています。

**【使用させていただく組織、試料等について】**

当科において骨軟部腫瘍に対する診断、治療を受けられた患者さんの、病理診断提出後の余剰の腫瘍組織を用い、種々の遺伝子や蛋白質の発現、異常について検討させていただきます。また、それらの発現や異常と患者さんの予後などの診療情報との関連も調査させていただきます。診療情報は、国の定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

**【使用させていただく情報の保存等について】**

研究のために収集した情報の保存はその研究の終了後5年間を予定しており、研究終了後は資料を裁断処分します。

**【患者さんの費用負担等について】**

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果により利益が生まれる可能性もありません。

**【研究資金】**

本研究においては、公的な資金である整形外科講座の基盤研究費および寄付金を用いて研究が行われるため、患者さんの費用負担はありません。

**【利益相反について】**

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

**【研究の参加等について】**

本研究への既存試料や診療記録情報の利用を許諾するかしないかは患者さんご自身の自由です。

本研究にご自身の既存試料および診療記録情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの既存試料および診療記録情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学会報告や学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文などを取り下げることがはいたしません。

患者さんの既存試料および診療記録情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の連絡先までお申し出下さい。

**【連絡先】**

879-5593大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1

大分大学医学部整形外科学講座

電話番号 097-586-5872